

ミラクルスターのつくりかた

Type-G, Encore Digest Ver.

リアル非対称恋愛システム
「良妻賢母のつくりかた」

1. 大前提として

大前提として

若くて、アプローチするよりされることの方が多く
何もしなくても男性が集まる女性であること

が必要です。現時点でそうではない人は、この先の話は全く関係のない話になります。これから努力してそうなったとしても、やはり関係のない話になります。不幸な結果をもたらしますので、ここで読むのを止めて別の道を考えてください。

一番起こりうる不幸は「昔は、アプローチするよりされることの方が多く何もしなくても男性が集まる女性だったけど、今はそれほど若くはない」というパターンです。お互いを認知した時点でどうであるかが決定的な意味を持ちます。やはり、この場合も別の道を考えてください。

2. あなたがついていく相手一人を決める

一人目から十人目まで十人のパートナーが揃っている男性の中から、

あなたがついていく相手一人を決めます。



写真はイメージです

十人のうち七人目のパートナーがあなたの未来です

あなたがついていく相手一人の十人のパートナーのうち七人目のパートナーにあなたの未来が投影できることが必要です。七人目のパートナーが誰であるか公表している人としていない人がいると思います。七人目のパートナーは十人のパートナーの中で要となる人物であるはずで、あなたがついていく相手一人の普段の行動、言動、何を狙っているかについてよく観察し、その内容に最もよく当てはまる人間が七人目のパートナーである可能性が高いと言えます。

3. 踏み台にする相手六人をつくる

言葉は悪いですが、それが実態である以上致し方ありません。

踏み台にする相手六人をつくります。

踏み台にする相手六人には Type-A ~ Type-F までのどれかを勧めるのが王道ですが、別の選択肢がある人もいます。

それでお金をもらうことができるだけの価値を持っている(プロフェッショナルである)人は、自分と同じことをそれぞれの時空間のなかで行うように導いてあげるとよいでしょう。

4. 七人目のパートナーを選ぶ

あなたにとっての七人目のパートナーとは、あなたがついていくと決めた相手のことです。現実には、あなたがついていくと決めた相手の七人目のパートナーと区別ができなくなるので、あなたがついていくと決めた相手の**ライバル**を選びます。

ライバルであるかどうかの判定基準は、あなたがついていくと決めた相手と**肩を並べるくらいの価値を発信していること**です。ある一分野について言えることでも構いません。

選ぶ上で欠かすことのできない選定基準は、**自力でその境地に到達していること**、かつその苦勞を知っているがゆえにあなたがついていくと決めた相手に対して**敬意を持って接することができる人であること**です。決して、力で無理やり押し倒して既成事実をつくってしまおうとするやり方の人間を選んではいけません。

5. 十人目までのパートナーを選ぶ

あなたにとっての八人目のパートナーは、

七人目のパートナーとの協業によって広がる部分の市場を開拓する人です。(七人目のパートナーが元々持っていた以外の市場)



写真はイメージです

九人目・十人目のパートナーを選ぶ場合は、七人目・八人目・九人目・十人目のパートナーのそれぞれの活動地域が重ならないように(選ぶ時点からあらかじめ状況を見通して)選びます。